「はぁはぁ、今日もレオちゃんの大きなお尻は最高だぜー。
特にあのロリっぽい顔とのギャップが堪らないよなぁ。
ケケケ、あっちこっちの男が狙ってやがるぜー」
ぷるん。
ぷるん。
「・・・・・」

「テコテコ、くみちゃんのおマ○コ。
おじさんの指を1本入れただけでもう、こんなにクチュクチュだね。
たった1本の指を膣の中で動かすだけでスケベな音を立てながら、こんなにマン汁を垂らして喜んでる。
・・・くみちゃんは、変態だなあ。」
クチュ
クチュ
ヒクヒク
ヒクヒク
ぬぷ
ぬぷ
ぬぷ

「テュフフ、なんかいみちゃん喜ん顔見てたら戦意ト興ヒガ入っちゃうよ。
まだ彼氏にも見せたことないそのスケベな顔。。。
テュフフ、おじゃんだけど見せトンれるなんて幸運だなぁ」

ビクッ

ビクッ

ビクッ

「ふぅ～ん、やっぱりおじゃんのオカチ○ポとしみちゃんの太もも匹敵するくらいマ○コは興奮からしぬー
まだ激しく動かしてないのに今に挿入しただけでもこんなに簡単に絡めたりするし
濡れ出すしみちゃんのマンホドおじゃんのオカチ○ポがぬるぬるだぞー」
ドクドクッ
ドクドクッ
もぐ♥
もぐ♥
「おじゃんのオカチ○ポ、きもいって言ってたくせに、ぎゅっとしがみつくしみちゃんのマ○コ触ってたらどんどん硬くなってきたぞ。。。。」

「デュフフ、こっちの穴も相変わらず締め付けがいいね。
彼氏とのエッチでも決して弄られはしないくみちゃんの汚いこの穴を、
おじさんなんかが指を二本も突っ込んで堪能できるなんて・・・おじさんは幸せだなあ。」
「そ、そこの穴はだめっ・・・ゆ、指を中で動かさないで・・・」
んっ♥
んっ♥
んっ♥
ビクン
ビクン
ガクガク
グチュッ
グチュッ
グチュッ
グチュッ

「はあはあ、くみちゃんのおマ○コ気持ちいいよお！！
くみちゃんが喘ぐ度におじさんのデカチ○ポを膣がぐっと締め付けてきて、
亀頭でくみちゃんの赤ちゃん部屋をノックする度にマン汁が溢れ出てくる！
おじさんは腰を振るのをやめられないよ！！！」
あんっ♥
あんっ♥
あんっ♥
「そ、そんなに激しく動かしちゃだめええっ！！！またイっちゃう！！またイっちゃうう！！！」
ビクン
ビクン
ガクガク
パーン
グッ
グッ
グッ
パーン

ドクッ
ビクッ
ビクッ
ビ

「はぁはぁ・・・今日も結構リの大きな所定量ケダシャへと出っちゃったなぁ。
チョコレートをちゃくちゃくちゃく

「デュフフ、相変わらず今日も大きなお尻にサイズの合わない小さめのパンツ履いてるね！
少しクロッチ部分をずらしただけでおマ○コ見えちゃいそう♪
まさかスカートの下がこんなドスケベ状態になってるなんてね、
学校生活で万が一クラスの男子や男の教師に見られた日にはどうなっちゃうんだろ・・・
多分みんなくみちゃんの事を種付け用のデカ尻肉便器としか見てくれなくなるんじゃないかな？笑」
きゅん♥
きゅん♥
「あーっ!!!よく見たらくみちゃんのおマ○コ、おじさんのデカチ○ポが欲しくてきゅんきゅんしてるじゃん！
あとちょっと湿ってる・・・くみちゃんはドすけべだなあ、デュフフ。」

「おいひ♪おいひ♪おいひいよう♪
・・・でもちょっとおしっこの匂いがするなあ・・・。
デュフフ、くみちゃんはおトイレしたあとにちゃんとおマ◎コふきふきしなかったのかな？
あ、おじさんが今度おトイレした後のおマ◎コの拭き方手取り足取り教えてあげよっか？笑」
『んっ！んっ！・・・い、いいです。』
ん♥
ん♥
クチュ
クチュ
ピチャ
ピチャ

「デュフフ、くみちゃんの乳首、勃起してるね♪
おじさんの長ーい下でク○ニされ、ア○ルは指突っ込まれ弄られたせいかな？」
「・・・ち、ちがいます・・・んっ！んっ！！」
「デュフフ、我慢しなくていいんだよ？お尻の汚い穴に指突っ込まれて感じちゃったんだよね？
しょうがないよね？お尻の汚い穴の方なんて普段弄らないもんね？」
んっ♥
んっ♥
ピチャ
ピチャ
クチュ
クチュ
グジュ
グジュ

「あっ！くみちゃんのおしっこ！いっぱい出てくる――！！
ク○ニされ続けて、ア○ル弄られ続けてイっちゃったせいかな？」
ああんっ♥
「あんっ！ああんっ――！！お、おしっこが止まらない！！」
ビクン
クチュ
クチュ
あん♥
ジャアアアア
グジュ
グジュ
「我慢しなくていいんだよ！おじさんがペロペロしてあげる！
くみちゃんの大きな桃尻から出る聖水！おじさんの大好物だよっ――！！」
ビクン

「はあはあ、くみちゃんのその喘ぐ顔を見て声聞いてたらもう我慢できない！
おじさんのデカチ○ポはもうギンギンだよ！
あんっ♥
今日は本番なしだと思ってたけどハメハメしちゃうぅぅ！！」
あんっ♥
「あんっ！あんっ！！お、おじさんの嘘つき！へんたいっ！！」
ゲシッ
ゲシッ
ビチャ
ビチャ
パーン
パーン
あんっ♥
「はあはあ、くみちゃんが悪いんだよ？
その顔も声もこのデカ尻もドすけべおマ○コも、
どれもがおじさんの種付け欲求を刺激するんだ！
この歩く種付け用デカ尻肉便器めっ！！！」

「おらッ！おらッ！！孕めっ！孕めっ！！！
ったくドすけべな顔と体しやがって・・・こんなのが街中歩いてたらレ○プして下さいって言ってるようなもんだろっ！！
けしからんっ！！！」
あんっ♥
あんっ♥
「あんっ！ああんっ！！！や、やめて下さい！あっ！またイっちゃう！！！」
ビチャ
ビチャ
パーン
パーン
あんっ♥
あんっ♥
「はあ？くみちゃんはそんな事言ってもね、
くみちゃんのおマ○コはおじさんのデカチ○ポ欲しい欲しいって言ってるよ？」
「そ、そんな事ない！あっ！そんなに激しくしないで！こわれちゃう！」
「ならそのビンビンに勃起した乳首と、おじさんのデカチ○ポで突くたびに溢れ出てくるこのマン汁はなんなんだろうね？
おらッ！おらッ！！！」

「今日はくみちゃんの赤ちゃん部屋にもたっぷりザーメン注入してやるっ！！
今のくみちゃんに人権なんてないって事を分からしてやるっ！
あんっ♥
あんっ♥
ビクーン
今は汚物のように排出される中年男の濃いザーメンを受け止める、
ただの種付け用ドスケベデカ尻肉便器だってことを分からしてやるっ！！うっ！！うっ！！」
あんっ♥
あんっ♥
ビクーン
「だめえええ！！赤ちゃんできちゃうううう！！」
ドピュッ
ドピュッ

「はあはあ、すっきりした♪
二週間ぐらい溜まってからなぁ、すごく濃くて大量のザーメンがくみちゃんのおマ◎コに出ちゃったよ！
デュフフ、もしかしたらおじさんとくみちゃんの赤ちゃんできちゃうかもね♪」

「はあはあ・・・や、やだあ・・・こ、呼吸するたびにおじさんのザーメンが出てくる・・・。」

「やっぱりザーメンを出すにはこのデカ尻に限るなあ。
感度もいいし、いい声で鳴くし♪」

「テニフェ、今日は大事なフェスの練習中に突然呼びだしてごめんね。
なんかレみちゃんが汗だくになって練習する姿、パンチラする姿を見てたらムラムラしちゃってね…
・・・それにしてもやっぱり練習の後だからおマ○コ蒸れてるね！
くんくん、トの汗のにおいとおマ○コ独特のにおいが混じった感じがたまらなくイイ！」

ぺろ

ぺろ

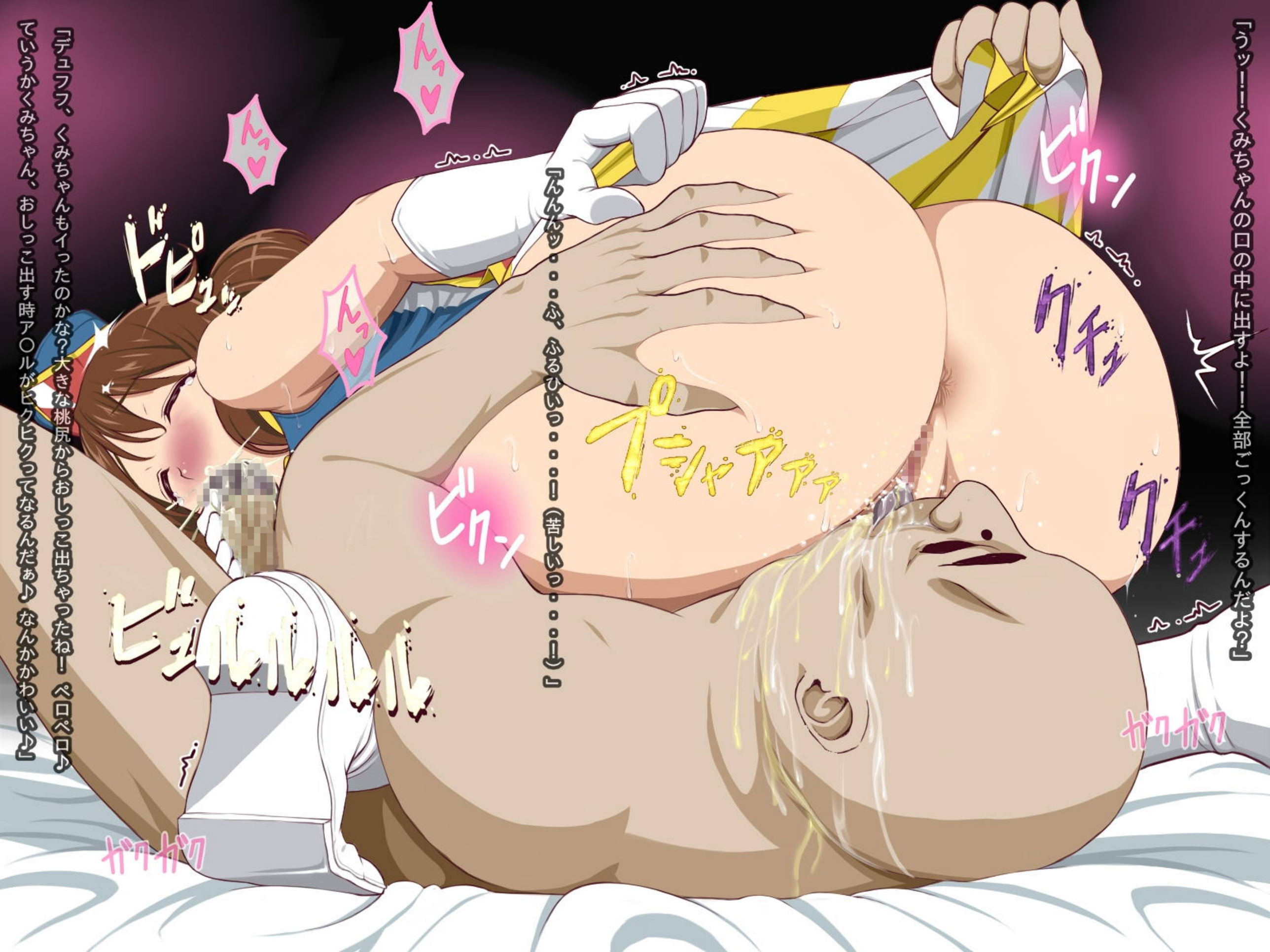
ぺろ

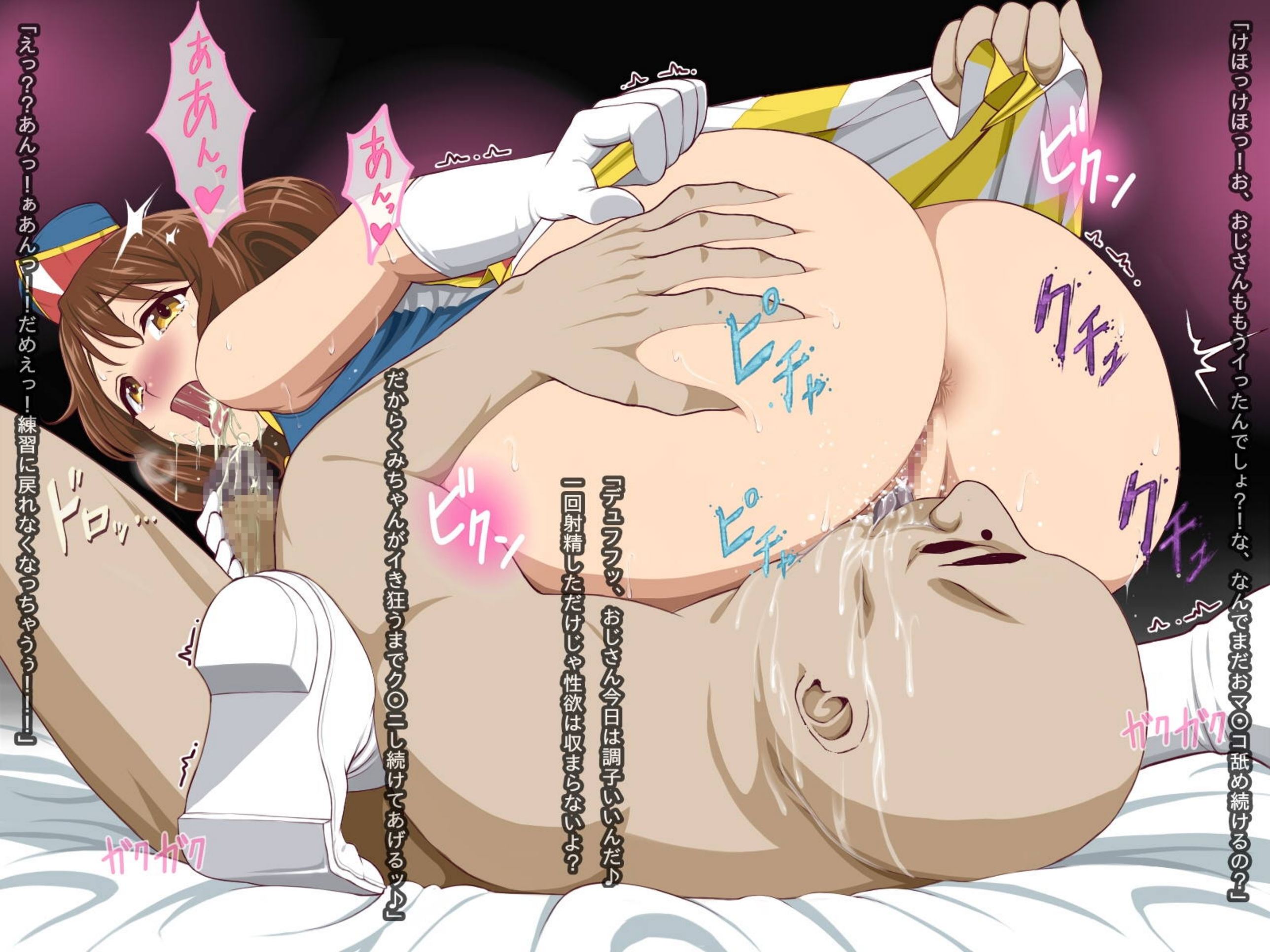
「練習の後で新陳代謝が良くなっているせいか、
ちょっと舌を入れただけでおマ○コからマン汁が溢れ出てくるね！
これはク○ニのしがいがあるよ！
あっ♥
あんっ♥
クチュ
ピチャ
ピチャ
クチュ
くみちゃん、どう？
練習の後のベロベロク○ニは気持ちいいでしょ？」
あっ♥
「そ、そんなこと・・・あっ！あんっ！」

「それにしてもリョウ様のお嬢さまとはいえ、
おじゃまするにあたってこれほどまでに
リョウ様のお部屋を楽しみながらもエロ本を入れ替えたりする
この手間ひまかけてまで準備をしてくれたおじゃまさんの
お部屋を見て回ってみるのもまた楽しいものだ」

「(ふふふ、ちょろいもんだ。)・・・ちょろくてちょろくてちょろくて

「くみちゃん、しゃぶり難いといえ、もうちょっと頑張ってチ○ポしゃぶってくれないとおじさん満足できないよ？」
「は、はひ・・・んっ!!!」
「デュフフ、ふと考えたんだけど、くみちゃんの友達も家族も学校の先生も、まさか小汚い中年オヤジとこんなド変態なプレイしてるとは思ってもないよね！
でも実際はしてる♪彼氏でも無い、愛情のかけらも感じない中年オヤジと、おマ○コを舐められながらデカチ○ポしゃぶってる♪」
クチュ
クチュ
ピチャ
ピチャ
ピチャ
ピチャ
ジュポ
ジュポ
ガクガク
ガクガク
んっ♥
んっ♥


「うッ!!くみちゃんの口の中に出すよ!!全部ごっくんするんだよ?」
「んんんッ・・・ふ、ふるひいっ・・・!(苦しいっ・・・!)」
「デュフフ、くみちゃんもイったのかな?大きな桃尻からおしっこ出ちゃったね!ペロペロ♪
ていうかくみちゃん、おしっこ出す時ア○ルがヒクヒクってなるんだぁ♪なんかかわいい♪」
ドピュッ
ビクン
ビクン
ビクンビクンビクン
プシャアアア
クチュ
クチュ
ガクガク
ガクガク


「けほっけほっ！お、おじさんももうイったんでしょ？！な、なんでまだおマ◎コ舐め続けるの？」
ビクン
クチュ
ピチャ
ピチャ
クチュ
ガクガク
「デュフフッ、おじさん今日は調子いいんだ♪
一回射精しただけじゃ性欲は収まらないよ？
ビクン
だからくみちゃんがイき狂うまでク◎ニし続けてあげるッ♪」
あんっ♥
あぁんっ♥
「えっ？？あんっ！ぁあんっ！！だめえっ！練習に戻れなくなっちゃうぅ！！！」
ドロッ…
ガクガク

「ヒヒヒ、今日はおじゃんのチカチカポをしゃぶるだけで許してあげる。
それにしてもゝみちゃんのお尻は相変わらず男の種付け意欲をそそるようなデカ桃尻だねぃ
あ、そうだーゝみちゃんは吹奏楽部で楽器を吹ゝより、
下のお口にチ○ポ咥え込まれて喘ゝオス専用の楽器皿体になった方がらしくんじゃないの？笑」

「くみちゃんのおマ○コは本当に感度抜群だなあ♪指一歩でかき回してるだけなのにマン汁がこんなに溢れてくる！ア○ルの方も締め付けがすごいし、くみちゃんの下半身の二つの穴は本当にドすけべだぁ♪
・・・あっ！よく見たらパンツがまた少し黄ばんでるじゃないか！ちゃんとおしっこした後はふきふきしないとだめだよ？おじさんだからまだ良かったものの、これをもし彼氏が見たら幻滅しちゃうよ？
・・・あっ、デュフフ。それとも最近おじさんと会う度におマ○コ弄られまくってるからおしっこの穴もゆるゆるになっちゃった？笑
「・・・ち、ちがっ・・・んっ！んっ！」
ビチャ
ビチャ
グニュ
グニュ
グニュ
グニュ
んっ♥
んっ♥
んっ♥

「相変わらずおじさんのチ○ポ大きいでしょ？」
「は、はひ・・・」
「なんかね、くみちゃんと会う時は普段勃起する時よりギンギンになっちゃうんだ。
・・・というかくみちゃんを見る度にかな笑
くみちゃんてさお尻が大きいからいつも腰をくねらせて歩いてるでしょ？
その後ろ姿を見る度に
「あっ！種付けしなきゃ！」っておじさんのチ○ポがギンギンになるんだよね。」
んっ♥
んっ♥
んっ♥
ジュボ
ジュボ
ビチャ
ビチャ
ビチャ
グジュ
グジュ
クチュ
クチュ

「ほらほらほらっ！もっと奥まで咥えんでしゃぶらないと！」
「は、はひ・・・へ、へほ、ほんはひはへひふはへはは・・・
（は、はい・・・で、でも、そんなに激しくされたら・・・）」
「くみちゃんは何言ってるのかな？
たかがおマ○コとア○ルを執拗に弄られただけでチ○ポしゃぶりが疎かになるなんて、
これから性処理兼種付け用デカ尻肉便器としてやっていけないよ？」
んっ♥
んっ♥
んっ♥
ジュボ
ジュボ
ビチャ
ビチャ
ビチャ
グジュ
グジュ
クチュ
クチュ

『くみちゃん、口の中に出すよ！たくさんごっくんしてね！ううっ！』
『んっ！んっ！ふ、ふふひい・・・（苦しい・・・）』
んっ♥
んっ♥
んっ♥
ドピュッ
ビクーン
ビクーン
ビチャ
ビチャ
グチュ
グチュ
グチュ
グチュ

「デュフフ、やっぱりくみちゃんの桃尻を弄りながら、くみちゃんのお口の中に射精するのは気持ちいいなあ♪
いつもより濃いのがたくさん出る♪」
はあっ
ビクン
はあっ
けほっ
けほっ
ドロッ…
ビクン
「けほっけほっ・・・・く、口の中と喉の辺りが精液でいっぱい・・・」
「ちゃんとごっくんしてくれたんだね♪今頃くみちゃんの胃の中はおじさんの出したザーメンでいっぱいかな笑？
・・・・はああ、考えただけで興奮してきた!!」

『はあはあっ!!くみちゃんっ!くみちゃんっ!!』
『き、今日はフェスの日なのに・・・』
はぁっ
はぁっ
『そんなの関係ないよ!もう我慢できないんだよぉっ!!
そのコスチュームでパンチラしてる姿見てたらもう犯す事しか考えれないんだよぉっ!!』
『お、おじさんいくらなんでも自分勝手すぎます!』
『うるさいっ!この性処理兼種付け用デカ尻肉便器が!
あの恥ずかしい写真をばら撒かれたくなければ今すぐこのデカチ◎ポをお◎マ◎コに挿れさせろっ!!』

『デュフフ、嫌がっている割にはすごい勢いでマン汁が出てるじゃないか！
くみちゃんのおマ〇コがおじさんのデカチ〇ポを欲してた証拠だな！
あんっ♥
あんっ♥
それにどうせあれだろ？
澄ました顔でフェスでマーチングしてる時もパンツを蒸れ蒸れおマ〇コに食い込ませて、
カメコのおっさんに写真撮られるたびマン汁垂らしてるんだろ？このドすけべ肉便器め！』
「ち、ちがうもん！おじさん頭おかしいよ！おじさんの変態！ド変態！！」
ヒ゛チ゛ヒ゛チ゛
ヒ゛チ゛ヒ゛チ゛

『肉便器のくせに生意気な事を言う口はこうだ！』
『いや！いや！やらあ！あんっ！あんっ！！』
あんっ♥
レロレロ
ピチャ ピチャ
あんっ♥
『たっぷりとおじさんの唾液でくみちゃんの舌をびちょびちょにしてやる！
そしてくみちゃんは好きな人とエッチな気分になってディープキスしようとするたびに思いだすんだ！
小汚い中年おじさんのデカチ◎ポをお◎コにを突っ込まれながら無理やりされたくさーいくさーいベロチュウの事をっ！！』
グチュッ
グチュッ
ビチャ
ビチャ

「肉便器のくせに生意気な口を聞いたから、今日はくみちゃんがイきつづけてやめてって懇願しても、おマ○コが壊れるまで、赤ちゃん部屋に濃――――いザーメンをたっぷり注ぎ込むまで、何回も何回もデカチ○ポで突いてやる――!!覚悟しろよお――――!!」
あんっ♥
レロレロ
ピチャ ピチャ
あんっ♥
「やら――!やらあっ――――!おかひくなっひゃうっ――!おかひくなっひゃうっ――――あんっ――あんっ――――」
グチュッ
グチュッ
ピチャ
ピチャ

『つたくデカ尻以外も肉付きのいい体しやがって！
おらッ！おらッ！！孕めっ！孕めっ！！
あんっ♥
レロレロ
ピチャ ピチャ
あんっ♥
あんっ♥
ああんっ♥
ビクン
こんな体のくせに日々スケベな事は何も知らな―いってな感じの澄ました顔で過ごしてるなんて本当にくみちゃんはド変態だなっ！
今度は裸でマーチングしてみなよ！
その場にいる男どもはみんなくみちゃんとの種付けドスケベセッ◎スしたくてうずうずし出すぞ―！！』
「お、おひはんのほへんはい！ほへんはい！！（お、おじさんのド変態―ド変態―！！）』
ゲスッ
ゲスッ
ビクン
ビチャ
ビチャ

あんっ♥
あんっ
あぁあんっ♥
レロレロ
ピチャ ピチャ
あんっ♥
ビクン
ゲスッ ゲスッ
ビクン
ビクン
『ううッ!!!出る!!!!くみちゃんの赤ちゃん部屋に目掛けてすっごい濃いザーメン出るうう!!!!』
妊娠確実!おじさんの濃いいいいザーメンで妊娠確実うううう!!!!』
『あんっ!ああんっ!!らめえええええっ!!!』

『はあはあ、デュフフ、たーくさん出たねくみちゃん♪』
ビクン
はあっ
はあっ
はあっ
ビクン
ビクン
「あれ？くみちゃん？？もしかしておじさんのデカチ○ポで何回も赤ちゃん部屋ノックしたからおかしくなっちゃったかな？
デュフフ、でもこれで分かったでしょ？正真正銘、くみちゃんはおじさんの肉便器だよ。
その顔と声、肉付きのいいおっぱい、大きい桃尻、そしておじさんのデカチ○ポを慰めるだけに股間に付いているおマ○コ！
くみちゃんはいつ何時も、おじさんがセッ○スしたいって言ったら迷わずその体を差し出さないとダメだよ？デュフフ♪」